

わらどん

平成25年1月15日
発行責任者
早川北小学校
校長 一瀬純司

図書集會に図書委員が活躍

児童全員が お気に入りの本を発表

十二月十一日(水)図書集會がありました。図書委員三人と顧問の綾子先生、美咲先生が、すごく楽しい『さるじぞう』のパネルシアターを上演しました。読

む側も演じる側もとても上手でした。

図書委員の発表があまりに上手すぎて緊張したという司書の河上先生でしたが、これまた素敵な語り口と小



道具で『かえるになったぼたもち』のお話をしました。

最後に、児童一人一人が、お気に入りの本について、自分で描いた絵を見せながら、とても丁寧に発表しました。(裏面に写真があります)

小瀬アイスアリーナでのスケート教室

一・二・三年生が一日たっぷり楽しみました

十二月五日(木)、早川南小・早川北小の合同授業の一環として、一・二・三年生が一緒にバスに乗って、甲府の小瀬スポーツ公園アイスアリーナに行ってきました。

講師のお二人の先生の適切な指導もあり、一日ですいぶん氷に慣れることができました。初心者グループは、最初壁沿いの伝い歩きもままならず、恐る恐る半周往復をした

状態だったのですが、その後あまり時間をかけることなく滑れるようになりました。子どもたちは本当に上達が速いですね。

この日はとてもよく晴れていたため青空と日光が気持ちよく、戸外でおいしくお昼をいただきました。

「また来たい!」という声がたくさんあった楽しいスケート教室でした。



年の瀬にミカンをいれたが嬉しかった

静岡の古川さん 二何年も続いています

十二月二十日(金)、長年、早川町の保育所と小学校に、ご自分が育てたおいしいミカンをお届けしてきました。静岡県の古川さんご夫妻が来校しました。ちょうど二学期の終業式の日でしたので、子どもたちに手渡していただきました。

「小さなミカンと大きいミカンを持ってきました。食べ比べてみてください。小さい方は甘くて、大きい方はさっぱりしている、みんなちがってみんないい、ですね。」と、金子みすずさんの詩にちなんでお話をしてくれました。

子どもたちに、ミカンが木になっている様子を見せようと、わざわざ枝摘果しないで、たわわに実らせた枝



も持ってきてくださいました。たくさんさんのミカンをありがとうございました。

豆知識 立春だから寒い

旧暦と新暦の行事が混ざっている日本。春という字につられて、つい「立春なのにまだ寒い」と言いたくなります。しかし、春分は新暦で、冬至と春分の中間点にとられています。

暦の上での立春とは、寒さが頂点となる日で、ここからいよいよ寒さがゆるみ始めて春に向かっていくという日です。ですから立春は暦の上で最も寒い日。実際、気象庁のデータでも、大寒から立春までが一年中で一番寒い日です。「立春だからこそ寒い」というわけです。

